

# 中国地理空間フォーラム in 広島

## 開催概要

開催日 平成30年9月13日(木)、14日(金)

開催地 広島市 JMSアステールプラザ 広島市中区加古町4-17

主催 G空間EXPO2018運営協議会、広島市

共催 広島県、中国広告美術業組合連合会、広島県広告美術協同組合連合会、NPO法人全国G空間情報技術研究会中四国支部

協賛 広島県教育委員会(検討中)

1. 開催目的 第3期地理空間情報推進基本計画(H29.3.24閣議決定)から  
○中国地方における地理空間情報活用のための連携協力体制の構築  
○産学官の連携により、地理空間情報活用の有効性、最新の技術動向、  
新産業の創造に寄与する講演会等の開催、国民に対する地理空間情報  
に関する普及啓発の推進

### 2. プログラム案

【第1日】9月13日(木) 10:00~17:00

午前の部 基調講演(産学官)

午後の部 特別講演

【第2日】9月14日(金) 10:00~17:00

午前の部 講演

午後の部 講演、パネルディスカッション等

3. 入場料・参加費 なし

**9月13日（木）午前の部 基調講演 10:00~12:00**

10:00~10:40（40分）

**講演1「地理空間情報に関する最近の取組について」**

国土交通省国土政策局国土情報課長 坂勝浩氏

- ・・・地理空間情報活用推進基本計画（第3期）、G空間情報センター、高精度測位社会プロジェクトなど、最近における国土交通省の取組等について紹介する。

10:45~11:25（40分）

**講演2「原爆痕跡のフィールドワークとGISワークショップによる  
広島平和学習」**

一般財団法人地理情報システム学会中国支部長・  
広島修道大学商学部教授 川瀬正樹氏

- ・・・原爆痕跡のフィールドワークとGISワークショップ地理空間情報活用の推進について、これまでの取組、現在の活動について紹介する。

11:30~12:00（30分）

**講演3「すばる望遠鏡の高性能の裏には、衛星測位精度との関連が！」**

一般財団法人衛星測位利用推進センター専務理事 三神泉氏

- ・・・最近の衛星測位技術が天文学の研究分野においても利活用されていることを説明。

《 休憩 12:00~13:30 》

**■9月13日（木）午後部 特別講演等 13:30~17:00**

**◆Aグループ 特別講演 【中ホール】**

13:30~14:50（80分）

**「城郭考古学における航空レーザー測定の活用」**

奈良大学前学長・文学部文化財学科教授 千田嘉博氏

- ・・・城郭考古学の研究において、地理空間情報が以下に活用されているかについて、戦国期に毛利元就が尼子の大軍を防戦した郡山城合戦など中国地方の事例を挙げて説明する。

15:00~16:00（60分）

**「多次元時空間情報 IoT プラットホーム開発と実用化について**

— 暮らしの安全を守る宇宙技術 —

広島工業大学環境学部地球環境学科教授 菅雄三氏

- ・・・宇宙・空中・地上測量技術を活用したIoTプラットフォーム開発に基づき、災害調査・分析、陸域ポジショニング（機械除雪支援）、海域ポジショニング（船舶監視支援）についての実用化のための研究事例を紹介

16:10～17:00（50分）

「ニュースにおけるGISの活用について」

NHK国際放送局 World News 部副部長 山本智氏

- ・・・最近のテレビニュース、webニュースにおけるGISの活用について、事例を挙げて説明する。

◆Bグループ 【大会議室B】

13:30～15:30 G空間情報センター セミナー 定員30名

（一社）社会基盤情報流通推進協議会（AIGID）

東京大学空間情報科学研究センター

15:45～17:00 「オープンデータで中国地域未来マップづくり」

（一社）データクレイドル理事 大島正美氏

国土地理院中国地方測量部地理空間情報管理官 木村幸一氏

◆Cグループ 【屋外巡検（まち歩き）】（悪天候の場合は中止）

15:15～17:00 「広島城 巡検」

奈良大学前学長・文学部文化財学科教授 千田嘉博氏

.....

9月14日（金）午前の部 講演 10:00～12:00

10:00～10:35（35分）

「新学習指導要領における地理学習の方向性とGISに期待されること」

文部科学省初等中等教育局視学官 濱野清氏

- ・・・2022年度からの新学習指導要領の実施に向けて、地理学習が「資質・能力」「見方・考え方」「生きて働く力」の育成にいかに関与するかについて説明し、併せてGISに期待されることについて説明する。

10:40～11:15（35分）

「地図の進化論 ―地理空間情報と人間の未来―」

首都大学東京教授 若林芳樹氏

- ・・・地図が進化した歴史を踏まえ、これからの社会における地理空間情

報の活用、あり方について考察する。

11:20～12:00 (40分)

「大分県で頻発した災害対応と復興への取組について」

大分大学准教授 鶴成悦久氏

- ・・・大分県では、九州北部豪雨災害をはじめ、中津市で発生した山崩れなど災害が頻発した。そこで、大分大学としての災害対応に加え、復旧・復興への支援などに関わる上での課題や地理空間情報の活用について紹介する。

《 休憩 12:00～13:00 》

9月14日(金) 午後の部 防災セッション等 13:00～17:00

◆Aグループ 講演(防災セッション) 【中ホール】

13:00～13:20 (20分)

「平成30年7月豪雨に対する国土地理院の取組」

国土地理院防災企画調整官 永山透氏

- ・・・平成30年7月豪雨に対して、国土地理院が行った対応について説明する。

13:25～14:05 (40分)

「様々な地理空間データを用いた豪雨災害の被災状況分析」

福山市立大学教授 渡邊一成氏

- ・・・広島県における最近の豪雨災害の被災状況について、様々な地理空間データを用いて分析する。

14:15～15:05 (50分)

「西日本豪雨災害における対応と課題について」

株式会社パスコ

- ・・・平成30年7月豪雨災害において、地理空間情報を活用して、どのような初動対応を行ったかについて説明する。

15:10～15:50 (40分)

「赤色立体地図で見る平成30年7月豪雨災害」

アジア航測株式会社先端技術研究所 千葉達朗氏

- ・・・平成30年7月豪雨災害の状況について赤色立体地図を使用して分析・説明する。

16:00～17:00 (60分)

パネルディスカッション

渡邊教授、鶴成准教授（進行役）、国土地理院・永山防災企画調整官、(株)パスコ、朝日航洋(株)G空間研究所長・大伴真吾氏、国際航業(株)防災部事業企画担当部長・島田徹氏、アジア航測(株)・千葉氏

・・・平成30年7月豪雨災害を踏まえて、今後の防災・減災・災害時の対応について、地理空間情報活用のあり方について議論する。

◆Bグループ 13:30～15:30 地理教育セッション 【大会議室A】

島根大学教育学部教授 作野広和氏  
首都大学東京都市環境科学研究科教授 若林芳樹氏  
文部科学省初等中等教育局視学官 濱野清氏  
国土地理院地理地殻活動研究センター長 宇根寛氏  
慶應義塾普通部教諭 太田弘氏  
科学警察研究所研究官 原田豊氏 他

◆Cグループ 【屋外巡検（街歩き）】（悪天候の場合は室内で実施）  
13:30～17:00 巡検「ひろしま地歴ウォーク」 定員30名  
広島大学大学院教育学研究科准教授 熊原康博氏  
一般社団法人空の下おもてなし工房代表理事 山崎学氏  
17:00（予定） 現地解散予定

◆Dグループ 【屋外巡検（街歩き）】（悪天候の場合は室内で実施）  
13:30～15:30  
巡検「ひろしまサインウォーク」 小美野智紀氏 他

15:30～17:00 産学官セッション 【大会議室B】  
「地図とサインの連携による観光客等の移動支援」  
(株)ドーコン 小美野智紀氏 他

以上